

# あおぞら



江戸川区立小松川中学校  
第1学年  
令和7年11月7日  
第26号  
＜合唱祭作文特別号＞

## 📅 週の予定 11月10日～11月14日

月日	曜	で き ご と	1	2	3	4	給	5	6
11 / 10	月	1 時間目 テストの受け方	学	②	③	④	○	⑤	⑥
11 / 11	火	期末考査 下校 12:20 給食なし	総	英	国	技	×		
11 / 12	水	期末考査 下校 12:20 給食なし	総	社	音	美	×		
11 / 13	木	期末考査 避難訓練 専門委員会	総	数	理	体	○	避	
11 / 14	金	朝：よむよむ 6 時間目：都内巡りコース決め	①	②	③	④	○	⑤	総

★中学校英語スピーキングテストの申し込み締め切りが 11月10日(月)  
午後 5 時となっております。以前配布している「保護者・生徒用申し込みマニュアル」を参照していただき、WEB 上より申し込みをよろしくお願いいたします。

.....✕・き.....り.....と.....り.....✕.....  
《ひとことNo. 26》1年( )組( )番( )  
掲載可否～( ) 掲載をご希望されない場合は ✕ をご記入ください。

## 「変わらないみんなとの思い出」

1 年 1 組

私は合唱祭にあまり乗り気ではなかった。皆、声を出さないだろうし指示を聞かない人だってたくさんいる。この状況で私が歌っても意味がないのでは、そう思っていた。本番が近づいてきたある日、先生が言った。『歌詞の「変わらない何か」って何?』そんなの歌に関係あるのかな、そう思っていた。この頃には声が出るようになっていて、私もアルトの練習をしっかりとっていた。先生が言っていた、「変わらない何か」を考えながら歌っていた。でも、それがよくわからなかった。

本番当日、私は「変わらない何か」を探すのと、緊張で胸がいっぱいだった。歌い終わって、私は「変わらない何か」は、皆との思い出なのではないかなと思った。思い出を忘れることはできるけど、なかったことにはできない。運動会の時や、教育実習生とのこと、合唱祭の練習の場面…何もかも全部、皆との変わらない思い出なんだと、見つけることができた。みんなとの思い出を考えながら歌った本番は最高だった。1 年 1 組の皆と毎日過ごせるのも半年を切った。これからも、皆と変わらない思い出をかみしめながら、毎日を過ごしていきたい。

## 「初めての行事」

1 年 1 組

小学生の時は音楽祭はやったことがあっても合唱祭という行事は初めてです。最初の頃は何をすればいいのか、わからない自分がいましたが、今ではとてもいい思い出になったとそのときの自分に語りかけたいです。初めての合唱祭は、たくさんいろんな人が動いて支えてました。学校のいいところはこんな素晴らしい行事があることです。自分だって楽譜係に任命されて少し嬉しかったし、皆の役に立てて良かったと思っています。

多くの授業や朝練、放課後練を通して本番前日の夜には、1 組が 1 番！と心に決めて布団に入りました。本番当日は歌う前までずっと心が躍っていて、あっという間に自分たちの番が終わってしまいました。何十時間も練習した成果が約 3 分にまとめられ、大観衆の前で披露されました。帰りの皆の顔は嬉しそうに見えました。けれど、合唱祭準備に長く、多く関わっていた人の顔には、さみしさや悲しさも混じっていたように見えました。

家に帰ってからも会場の余韻はぬけませんでした。この先、1 年 1 組としていられる時間は少ないけれど、運動会や合唱祭のようにどんどん思い出がたまっていく。それが私の楽しみであって、さみしくも思うところです。あと少しの 1 年生生活をクラスで協力し合っていきたいです。

## 「合唱祭を終えて」

1 年 2 組

私はこれまで、あまり人前に立ったり、指示を出したことがなかった。最初は、本当に仕事ができるのか分からなかった。

伴奏者になって 1 番最初に仕事をしたのは、夏休みだ。その時は、同じ伴奏の子や先輩の前で演奏するのが緊張してクラスの前でも弾けるかが分からなかった。夏休みが終わり、音楽の授業で練習をした時、指示も何を出せばいいのか分からないし、自分の伴奏もへなちょこだった。そんな中、私は毎朝朝練に参加していた。

A さんが毎日言う、「発声やります！」の声に、私も A さんみたいになりたいなと思った。そこからちょっとずつ A さんを真似しようと思い、放課後練習の時に、実行委員の後に続いて私も指示をだした。声が届かないし、緊張していたけど、みんなが聞いてくれたからホッとした。本番でもいろいろ不安があったけど、大成功してめっちゃうれしかった。

合唱祭で分かったことは、自分が勇気を出したら上手くいったことです。いつも人前に立たないから分からなかったけど、いつも指示を出している人は、最初は勇気がいたんだなと思った。日々の放課後練習や毎日の朝練がこの大成功につながったと思う。今までは人に頼ってばかりだったけど、これからは自立したいし、何事も逃げないで勇気を出して取り組みたいと思った。

## 「みんなの思いはきっと届く」

1 年 2 組

私は合唱祭の曲選びのときからずっとわくわくしていました。「どんな曲があるのだろう？」と表が書かれた紙が配られ、家で聞き、投票で歌が決まった。私のクラスは、「歌が息をする」という曲を歌うことになった。

授業では、文化祭実行委員を中心にどこを練習するかなどを決めた。でもなかなかうまく歌えず、何度も同じところを注意されるばかりで、実際にやるのがなかなか難しかったです。頑張っていました、強弱や音程、はっきりとした歌で元気に歌うことは全然できませんでした。一番苦戦したのは、ソプラノとアルトを合わせて歌うことでした。お互いにつられてしまったり、ソプラノの声が聞こえないこともありました。中には先生の話を聞かず、自分勝手な行動をする人もいました…。「これでは合唱祭に間に合わないかもしれない。」そう思っていました。どんどん近づく合唱祭。かなり緊張してきました。でも意気込みの付箋を見たら、みんな必死に頑張っていたことがわかりました。そうしたらなんだかほっこりした気持ちになりました。本番は行けませんでした、先生があんなにほめていたということは、きっと頑張った成果がでたのだと思いました。みんなの思いは伝わった気がしました。

## 「心を一つに」

1 年 3 組

10月24日、合唱祭当日。私は緊張し過ぎて足が震えていた。お手洗いに行ったら友達が「3組はあんなに練習して、リハーサルでもちゃんと歌えていたから大丈夫」と、背中を押してくれました。だから本番はあまり緊張せずに歌えました。

最初の練習では、あまり上手くまとまらず少し焦りました。「こんなにバラバラで本番大丈夫なのか」そんな時、先生が「心を一つに頑張ろう！」その一言で歌がまとまったように感じました。そこからはアカペラでも歌えるようになりました。練習最後の日、みんなで円陣を組みました。そこでさらに「心を一つに」できたような気がして嬉しかったです。

本番では3年生の歌にとっても感動しました。2年後、私もこうなりたいと強く思いました。1年生、最後まで頑張ろう！！

## 「実行委員」

1 年 3 組

中学校に入学してから、初めての合唱祭でした。僕は、文化祭実行委員として仕事をしていました。当日は、準備や場所の確認など、とても忙しかったです。が無事に合唱祭を大きなトラブルなく終えることができて、とてもよかったです。

練習を始めたばかりの頃は、歌詞を覚えていない人、話を聞こうとしない人、ふざけあっている人など、頑張ろうとしている人が少なかったです。でも、合唱祭が近づくにつれて、そういった人たちもやる気を出し、他人に注意をしたり、とても大きな声で歌っていました。こういった一人ひとりの合唱祭に対する意識が高くなったことで、合唱祭がよりよい行事になったと思いました。

来年も実行委員をやりたいです。来年は、もっと大きな声を一人ひとりが出して、よりよい合唱祭にしたいと思います。



## 「合唱祭を通して」

1 年 4 組

合唱祭で、私はクラスの指揮者を担当しました。指揮者に決まったときは「自分にできるかな。」と不安な気持ちもありました。でも「やるなら絶対にみんなをまとめて良い合唱祭にしたい。」と決心しました。最初の頃は、なかなか思うようにいかず、何度も壁にぶつかりました。練習中にふざけてしまうことも多く、クラスの雰囲気ガ乱れることもありました。そんな時に周りにいた友達が「静かにして。」「ちゃんとやろう」と実行委員を中心に注意してくれて本当に心強かったです。その優しさに支えられ、「自分ひとりだけじゃない。」と思えるようになり、そこからクラスの雰囲気が変わり、みんなが歌に真剣に向き合うようになりました。そして、本番ステージに立った瞬間、これまでの練習の日々が一気によみがえり、「最高の合唱祭にすると誓った。」と、心をこめて指揮を始めました。一人ひとりの顔を見るといろいろなことが思い出されてうるっときちゃいました。歌い終わって拍手をもらうと、頑張りを認めてもらえた感じがして、とてもすがすがしかったです。あの瞬間の達成感言葉では表せないくらい強く心に残りました。指揮者として、みんなの頑張りを良く見ることができ、また、合唱祭を通して仲間を信じて協力することの大切さ、一生懸命に取り組むことで達成感を得られることを学びました。支えてくれた人への感謝の気持ちと、この経験を忘れずに、これからも何事にも全力で頑張りたいです。

1 年 4 組上手だったよ！ありがとう！

## 「心をひとつに」

1 年 4 組

私の合唱祭での目標は「クラスで心を一つに」と「最高だと思えるクラスにしよう」だった。この目標を達成できるよう、さっそく一回目の練習から私は力を入れていきたいと考えていた。だが、思うようにはいかず、クラスからは話し声と笑い声だけが私には聞こえていた。このままでは本番に間に合うのかと私はすごくあせる気持ちでいっぱいだった。そんな思いを抱えながら、練習を重ねていた。そして最初のまとまりのなさからは考えられないくらいきれいな歌声に完成してきた。クラスの表情、まとまりも強くなり、私は運動会の時の 1 年 4 組を思い出した。このクラスはやるときはやるというクラスだ。ピリーブを歌っているときは 4 組の心が一つになっていて、とても楽しかった。ついに合唱祭本番の日、緊張していたけれど、それ以上に 4 組の作り上げてきた合唱を他の生徒や保護者、先生方に聞いてもらうのが楽しみになっていた。合唱が終わり、先生の感想を聞いた。この合唱を通して、やるときは全力でやることができる、そんな 1 年 4 組は最高のクラスだと思った。

## 「挑戦」

1 年 5 組

私は合唱祭で実行委員を担当した。合唱祭の練習は私にとってすごく大変なものだった。私は、人をまとめるのが苦手で男子の実行委員に任せっぱなしになっていたし、指示が通らないことも多くあった。私は実行委員をやりたいわけではない。そのため、合唱祭への熱意が足りていなかった。でも練習やりハーサルをしていくうちに、他のクラスからおいていかれている感じがして正直あせっていたし、このままで当日大丈夫かなって毎日思っていた。私は、実行委員がしっかりやらないと、と思うようになった。そこから歌詞が大切と考え、歌詞テストを行ったりして先生方からのアドバイスをもとに全力で練習に取り組んだ。最後の最後まで練習した成果が本番で出せたとき、すごく感動した。なにより歌い終わったあとの観客からの拍手を聞いて、あきらめないでやってきてよかったと心から思った。私はこの合唱祭を通して、挑戦すること、頑張ることの大切さに気がついた。自分一人でできないことも、私の周りの人は助けてくれた。初めから諦めないでまずは挑戦してみる。そうしたら意外とできたりすることだってたくさんあるだろう。私は実行委員をやって実感した。自信がなく、あと一歩が踏み出せていない人はそこで諦めないで一度挑戦してみたい。そう伝えたいと思う。そして、先生方、実行委員の仲間、クラスメイト、実習生だった先生、合唱祭を支えてくれた全ての人に感謝をします。この合唱祭がみんなにとって良い思い出として残っていたら良いなと思います。とても楽しかったです！！

## 「まだ大丈夫」

1 年 5 組

「まだあと一カ月あるから」  
練習をしているとき、ずっとそう思っていた。一カ月もあればまだたくさん改善できるから。毎日パート練習をして、大きな声を出す。ただそれだけだから。全体練習をして他のクラスの声を聞くまでそう思っていた。  
全体練習のクラスごとの発表が終わった後、びっくりした。自分達ってこんなに声が出ていなかったのかと。5 組だけ三部合唱だったとはいえ、クラスで練習したときの声の大きさを歌えていただろうか。その時やっと気づいた。「まだ」じゃない「もう」なんだ。もう後二週間しかない。この時間をどう使うかで決まるんだ。私はそう思いながら残りの時間練習した。他の人も同じ思いだったかもしれない。そうじゃなきゃここまで歌声が良くならなかったはず。まだじゃなくて、今を大事にしていきたい。

## 「文化祭実行委員として」

1 年 6 組

僕はある日手を挙げた。そしてその日から「文化祭実行委員」として新しい道をスタートした。

僕は人をまとめることはあまり得意な方ではなかった。しかしクラスみんなや担任の先生、副担任の先生が協力してくれたおかげでスムーズに進めることができた。最初の方は声が小さく音楽の先生に指摘されることが多かったが、先生の指導のおかげでみんなが大きな声で歌うことができた。

そして合唱祭当日がきた。「みんなが緊張して声が出なかったらどうしよう」という気持ちもある中、舞台に上がって客席を見た。歌い始めたとき、みんな体を使いながらきはきと歌っていて、すごく安心した。終わってみたらすごく達成感があってよかった。

僕はこの合唱祭を通して、人をまとめたり動かしたりすることが得意になった。この力を今後の行事などにつなげていきたい。

～ひとこと ありがとうございます～

## 「文化祭、大成功！」

1 年 6 組

私は中学生になってから、初めてみんなの代表となる文化祭実行委員と伴奏者の二つの役割を担当しました。

舞台発表ではスライドを担当しました。時間内には終わらず、放課後何度か残って作ったので、とても大変でした。ですが、本番に納得できるスライドを作ることができたのでとても良かったです。

合唱祭ではみんなにうまく指示が通らず、思うように練習が進まないときがたくさんありました。でも、学級委員やパートリーダー、生徒会の人を中心に、指示をしてくれたり、歌えるように「静かに！」と声掛けしてくれたりして、運動会のときより一人一人の意識が高まっていると思い嬉しかったです。

いつもは授業中にうるさくなってしまうサファリパークのようなクラスではあるけれど、大きい行事にはみんなが一致団結して目標に取り組んでいてとても良かったです。本番は100%の力を出して合唱ができたので、今までみんなと一緒に努力をしてきて良かったと思いました。

最初は文化祭実行委員と伴奏者をやるのは一つだけでも大変なのに、二つも掛け持ちできるか不安だったけれど、クラスの人たちが協力してくれたおかげで、どちらも責任もって最後まで仕事ことができました。この経験を生かし、これからの学校生活に役立てていきたいと思いました。